

省エネルギー対策・CO₂削減

店舗の電力使用量の5～6割を占める冷蔵・冷凍設備、1～2割を占める照明を中心に省エネを進めています。



冷蔵・冷凍ショーケースの工夫

ショーケース内部には、従来、各棚に照明が設置されていましたが、ケース全体を外側から照らす照明に替え、本数を減らしています。また、発熱量が少ないLED照明にすることで、冷蔵・冷凍設備への負担を減らし、省エネを図っています。その他にも、冷気を逃がさないよう、冷凍ショーケースに扉を設置し、消費電力を1割～4割削減しています。扉のないショーケースにはカーテンが付いており、夜間は閉めて冷気を閉じ込めます。



照明の省エネ

蛍光灯に比べ消費電力の少ないLED照明への切り替えを進めています。2018年度に16店舗に導入したことで、8割以上の店舗で切り替えが完了しました。対象の店舗では、店舗全体の電気使用量を約10%削減することができました。



デマンド監視装置

2015年より、電力需要監視装置を導入し、現在約7割の店舗で活用しています。使用電力が目安の数値に近づくと警報が鳴るので、店長が予め定めた機器類の電源を停止させる仕組みです。導入した店舗では、それ以前に比べ、需要が最も高い夏の電力需要が前年比約94%になりました。



太陽光発電の採用

成城店、横浜岡野店、野沢龍雲寺店では、建物壁面に設置したソーラーパネルで発電し、店舗の一部照明に使用しています。発電電力量は店内のモニターで確認することができます。



新電力の活用

2017年より、20店舗で使用する電力を新電力会社から購入しています。電力会社によりCO₂排出係数が(※)が異なるため、切り替えによって、電気の使用に伴うCO₂排出量を減らすことが可能です。

※電力会社が電力を作り出す際にどれだけのCO₂を排出したか算出するための指数

冷凍設備の圧力制御

冷凍設備の集中コントロール盤で冷媒ガスの圧力をコントロールし、少ない消費電力で効率よく運転しています。



2018年度電気使用量

全店の使用量……………206,307,061kwh
原単位当り(※)の使用量……………0.105kwh/m²・h
※店舗面積1m²・1営業時間当り

■電気使用量('05年度比)

